

行動

action

動きだそう。

千厩仮設住宅親睦会の代表小山均さん(65)＝宮城県気仙沼市出身。二男の結婚式を翌日に控えた矢先、東日本大震災は起きた。

発生直後、同市本浜町の自宅にいた均さんは、美容院から帰った妻はつるさん(63)、ペットの猫、近くに住む義母梅原ハマヨさん(86)を車に乗せて高台に避難。何度も押し寄せ、容赦なく街を飲み込んでいく大津波に呆然と立ちすくんだ。海岸に近い均さんの住まいは跡形も無く流されたが、義母ハマヨさんの住まいは無事だった。義母宅で7カ月を過ごした後、2011年10月23日から均さんとはつるさんは仮設住宅に入居、千厩での暮らしが始まった。

構造、設備が充実している千厩仮設住宅は、地元気仙沼の仮設住宅より居心地がよく「一晩眠っただけで気持ちがあつと」と振り返る。12年10月から同親睦会代表となり、集会所で卓球、カラオケや手芸を企画したり、畑で野菜を育てたりしながら、入居者同士のコミュニケーションを深める毎日。さらに、ボランティア団体、サポートセンターなどの連絡調整にも奔走している。

仮設住宅にはさまざまな形で支援の手が差し伸べられている。地元の野菜が贈られたり、いも煮や豚汁を振る舞われたり、一緒に料理をしたり、イベントに案内されたりと「関市の皆さんは温かく、本当に良くしてもらっている。つらい記憶を忘れさせてくれる」と感謝する。

いつまでも被災者のままではいられない――
気持ちにも少しずつ変化が出てきた。被災した人の心の傷の大きさ、深さ、立ち直りの度合いは千差万別。全てを一緒に考えることはできない。それでも「一歩ずつ、自立の道を歩むことが、支援してくれた皆さんへの恩返しになる」と考えるようになった。「被災者と支援者ではなく、普段着の付き合いで共に生きていきたい」とも。

「あの日」から2年。つらい気持ちも拭い去つても、「震災の記憶を風化させてはならない、伝えていかなければならない。それが道標になる」と復興を願ってやまない。「もう一度、気仙沼で生きる」その日を信じ、「今」を懸命に生きていく。

あの時、人々はどのように「行動」したのだろうか。そして、どのような今を過ごしているのだろうか。当時と現在の姿を知り、そこから希望の光を見出していく。



少しずつ、少しずつ
ゆっくりと「前へ」
「古里」も「こころ」も
希望の明日へ一歩ずつ



1 千厩高生と入居者が一緒に行った花苗の植付作業 / 2 集会所に飾られた入居者の手芸作品 / 3 前へ進もうと語る小山さん夫妻



1 自慢の料理に腕を振るう政巳さん / 2 津波に耐えた看板 / 3 花泉の地で再起を誓う西城さん夫妻



再開を目指す謙一さん

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染の影響で、市内のシイタケ農家は大きな痛手を負った。その多くが生産を休止・断念していき、大東町曾慶の岩淵謙一さん(64)は再開を目指している。

2012年4月、原子力災害対策本部長(内閣総理大臣)から本市産乾シイタケの出荷制限指示が、同年7月には汚染した全てのほだ木(原木にキノコの菌を植えたもの)の使用制限指示が出された。使えないほだ木を前に「かわいそう」と心を痛める。出荷制限は現在も続いている。損害賠償は先行き不透明で、原木の安定供給も難しい。風評被害を受けた生産者の意欲や誇りも失われつつある。拭い

去るには時間がかかる。シイタケ農家は今は正念場だ。もう一度、品質のいいものを作り続けるしかない――謙一さんは、山を除染したり、不検出の原木を取り寄せたりして、どういう状況・条件で生産すれば基準値以下のシイタケを収穫できるのか、試験栽培に取り組むことを決めた。「自分が前例を作り、生産を休止した人や断念した人の背中を押したい。みんなの意欲を取り戻したい。」
何もしなければ何も変わらない。考えて、動いて、挑戦して、再生の糸口は見えてくる。「負けてたまるか」産地の意地で風評被害に立ち向かう。

残った看板を花泉に掲げ 自慢の料理で恩返し

宮城県気仙沼市で妻のり子さん(54)と飲食店を営んでいた西城政巳さん(59)。津波で自宅と店を失った。再出発の場所を求めて各地を回る中、縁あって花泉町に。住まいと店舗を確保した。2011年6月23日、同町涌津に新生「イザカヤ東京食堂300」(さんじゅうまる)を開店。津波にさらわれることなく残った看板を新店舗に掲げた。

「料理は生きがい」と言い切る政巳さん。「『おいしい』と、言ってもらえる料理を出して、お客さんを笑顔にしたい。お客さんの笑顔が自分たちの元気の源だから」と再起の地花泉で腕を振るう。それが、応援してくれる人たちへの「恩返しになる」とも。
政巳さんとのり子さんは、たくさん感謝を込めた自慢の創作料理で、温かく、優しい絆を育んでいく。



「負けてたまるか」産地の意地で逆境に立ち向かう

